

⑥3つの独占形態って何？

- (カルテル)：同じ産業の企業同士が協定を結んで競争を避ける形
- (トラスト)：同じ産業の企業同士が合併して利益を得る形
- (コンツエルン)：様々な産業の他社を買収し、支配する形

⑦独占を防いで自由競争させる法律は何？

(独占禁止法)

⑧独占状態の監視や取り締まりを行う機関は？

(公正取引委員会)

現代社会の“問題”点

資本主義と社会主義

自由競争が行き過ぎると“貧富の差”が拡大して、大勢の貧困者がいる。その話はしたよね。そんな大勢の貧困者をなんとかしようと1917年、ある考え方をした国家が誕生した。ソヴィエト連邦だ。

この国は“社会主義”と言う考え方をしていた。それは自由競争を行う“資本主義”を否定して、働いて稼いだモノは国家全体のモノという考え方だった。全てのモノはみんな平等に！一見理想的な国家のように思えるけど、実際はそうならなかった。

頑張っても自分の給料が増えるわけでもない、どうせみんなで平等に分けるんだったら、少しでも手を抜いて平等にしてくれた方が得だな。そう考える人が出てきて、経済は低迷（泣）ついにソヴィエト連邦は1991年に崩壊してしまった。現在も社会主義の国はいくつかある。でもどの国も資本主義の要素を取り入れてバランスを取ろうとしているんだ。

また、資本主義の国々も貧富の差を解消するために政府が政策を実施したり、社会主義の要素を取り入れたりしている。どっちかが正しいと言うわけじゃないんだ。

